公共交通を支える人たち
～今日も走る、その裏側に～

■1日のスケジュール例

7:40	出社、運転前点呼実施（健康状態の把握、車両点検等）
8:00	乗務開始
13:00	休憩
14:00	乗務再開
17:30	帰社 運転後点呼実施（アルコール検査、車両点検、運行報告等） 退社

今後の目標

乗務するうえで安全運転を第一に心がけており、「これからもお客さんに気持ちよく乗ってもらえるようにし続けたいと思っています」と話す内畑さん。実は他にも目標があるということでお話を伺うと、「手話の検定を受けてみたいと考えています。ろう者のお客さんとは筆談でやり取りしていたのですが、あるお客さんが簡単な挨拶を教えてくださって、その方に教えてもらううちに興味を持つようになりました」と話してくれました。内畑さんのように、一人ひとりのお客さんを大切にしながら運行している同社のタクシーは、これからも地域の皆さんの心が豊かになるような移動サービスを提供してくれます。

入社のきっかけ

同社に入社する前は、約10年間介護職に就いていたという内畑さん。タクシーの運転手を志したきっかけは、「車の運転が好きで、接客や人と話すことが好きなので、自分に合っているのではないかと思って応募しました。実際に働いてみて、とても自分に合った仕事だと感じています」と笑顔で話してくれました。入社時点では第二種免許を取得していなかった内畑さんですが、会社の助成を受けて入社後に免許を取得されました。

仕事の魅力や働きがい

タクシーは、お客さんごとに運行経路が異なります。「土地勘のない場所だと基本的にはお客さんに教えてもらって走るので、お客さんに育ててもらっていますね。また、早く目的地に着くための経路を会社の先輩に尋ねることがありますが、みんな優しく教えてくれます」と話します。

通院や買い物など日々の生活に欠かせない移動のために利用されることが多いのもタクシーの特徴です。「お客さんが顔を覚えてくれて、よく話をさせてもらう方もいらっしゃいます。買い物をされたご高齢の方の荷物を運ぶのを手伝ったときに『ありがとう』と言ってもらえたり、ひとり暮らしのお客さんを乗せて『家にいても寂しいけれど、車内で話せて楽しかった』と言ってもらえたりしたときは、働きがいを感じますね」と話す内畑さん。タクシーの運転手は単にお客さんを運ぶだけではなく、地域の皆さんとのつながりを作る仕事でもあるといえます。

運転手を募集

暮らしを支え、地域に貢献
女性も

御坊第一交通	GMCトランスポート
☎22-3367	☎24-1001